

No.82
2018
11/10



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



JR東労組ステーションサービス協議会

申1号 第1回交渉 2018年度年末手当

基本給月額 3.0ヶ月 を力強く要求!!

11月9日、JR東労組は申1号「2018年度年末手当に関する申し入れ」の団体交渉を行いました。要求に関する主旨説明では「JESSビジョン2020」による「3つの駅づくり」の実現や、技術継承や業務改善により、「安全・働きがいのある」駅職場をめざし、日々奮闘する組合員の努力と頑張りによる結果であることを強く訴えました。

会社は冒頭、夏場の猛暑や輸送障害の対応等、安全第一で取り組んだ組合員への感謝を述べた後、2018年度第2四半期決算の概要の説明を行ないました。営業収益は新規受託駅20箇所及び営業実地指導業務の受託について計画的に進んだことで113.6%の増収となったが、人件費等の費用増加により減益だったと述べています。

JR東労組は引き続き“満額回答獲得”に向け、団体交渉を行ないます。

JESS 損益計算書（抜粋）

【単位：百万円】

	2017年度 第2四半期決算	2018年度 第2四半期決算
営業収益	5,648	6,417
売上総利益	728	617
営業利益	245	109
経常利益	256	124
当期純利益	154	67

=JR東労組主張=

- 営業収益は64億万1,600円と2017年度と比較して7億6,800万円増加している。
- 受託駅箇所の増加や自然災害に引き起こされる異常時対応の業務が著しく増加し、現場第一線で奮闘する組合員の努力に報いるべき。
- 経営状況は順調に推移していることから基本給月額3.0ヶ月を支払う能力は十分ある。

=会社主張=

- 営業収益は増加したが、新人賃制度の導入による人件費の負担が拡大し純利益の減少に繋がった。
- 新規受託箇所における一時的な要員不足や自然災害時等の異常時対応など、現場の組合員の理解と協力があつたことに感謝している。
- 年末手当について、第2四半期決算の状況とこれから掛かる費用の要素を含め検討し回答したい。

JR東労組の旗の下へ結集する仲間の組織力と 職場からのたたかいで満額回答をかちとろう!